

資料 3

千葉県公立高等学校入学者選抜制度のアンケート結果について

平成 2 5 年 5 月 1 5 日
千葉県教育庁教育振興部指導課
電 話 0 4 3 (2 2 3) 4 0 5 6

千葉県公立高等学校入学者選抜では、平成 2 3 年度から「前期選抜」・「後期選抜」の入学者選抜を導入し、平成 2 5 年度選抜で 3 回目の実施となりました。

そこで、千葉県教育委員会では、この選抜制度の検証を行うため、下記のとおりアンケート調査を実施しましたので、その結果を御報告します。

なお、この結果については、平成 2 5 年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会において、詳しく検討する予定です。

記

1 調査対象

(1) 県内公立中学校長（以下、中学校長）

ア 依頼 3 8 2 名 (3 8 2 校)

イ 回答 3 8 0 名 (回答率 9 9 . 5 %)

(2) 県内公立中学校第 3 学年生徒（以下、中 3 生徒）

ア 依頼 1, 1 4 6 名 (3 8 2 校 ; 各校 3 名)

イ 回答 1, 1 3 5 名 (回答率 9 9 . 0 %)

(3) 県内公立中学校第 3 学年 P T A 関係者（以下、中 3 保護者）

ア 依頼 1, 1 4 6 名 (3 8 2 校 ; 各校 3 名)

イ 回答 1, 1 3 3 名 (回答率 9 8 . 9 %)

(4) 県内公立高等学校長（以下、公立高校長）

ア 依頼 1 3 2 名 (1 3 2 校)

イ 回答 1 3 2 名 (回答率 1 0 0 %)

(5) 県内公立高等学校第 1 学年 P T A 関係者（以下、高 1 保護者）

ア 依頼 4 4 4 名 (全日制 1 3 1 校、定時制 1 7 校 ; 各校 3 名)

イ 回答 4 2 1 名 (回答率 9 4 . 8 %)

(6) 県内私立高等学校長（以下、私立高校長）

ア 依頼 5 8 名 (5 8 校)

イ 回答 4 9 名 (回答率 8 4 . 5 %)

2 実施時期

平成 2 5 年 2 月下旬から 3 月下旬まで

3 アンケートの概要とその結果

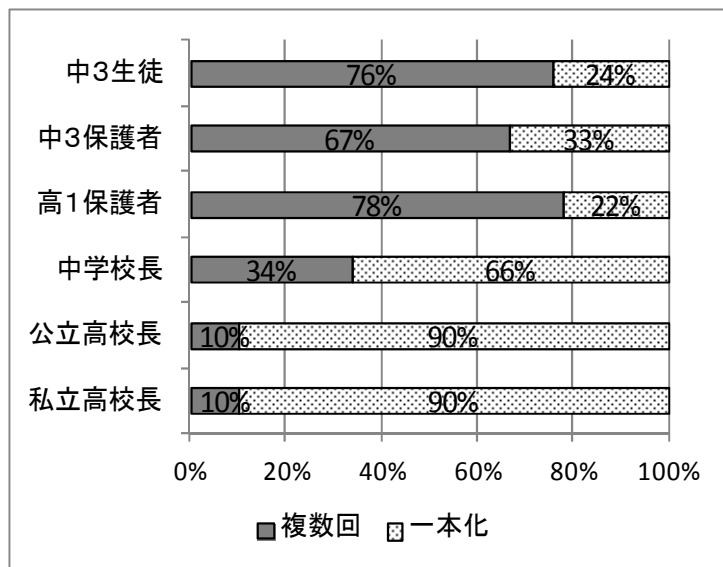
別紙のとおり

<アンケートの概要とその結果>

1 選抜制度について

(1) 受検機会（選抜の回数）について

	複数回 (前後期)	一本化 (1回)	合計 (人)
中 3 生 徒	838	267	1105
中 3 保 護 者	710	353	1063
高 1 保 護 者	318	89	407
中 学 校 長	129	246	375
公 立 高 校 長	13	119	132
私 立 高 校 長	5	44	49



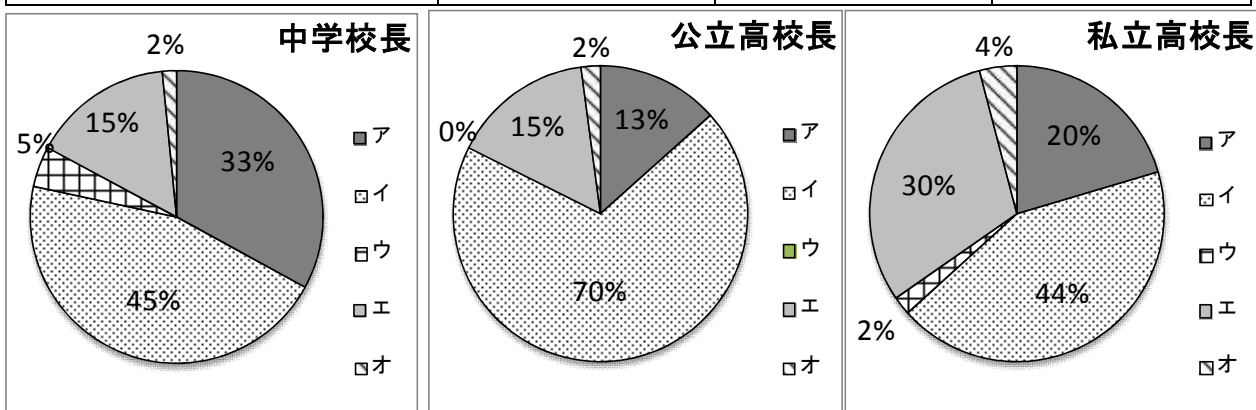
《主な意見》

複数回の受検機会があったほうがよいとする意見	前後期を一本化して1回の受検がよいとする意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回の選抜があることで、上位校にチャレンジできるなど、志望校選択の幅が広がる。 ・ インフルエンザ等体調管理が難しい時期なので、2回の選抜があるほうがよい。 ・ 1回の選抜では、選抜の時期が遅くなり進路決定が遅くなるので不安である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回の選抜を実施することで、授業時数を確保することが大変である。 ・ 学級内に前期選抜内定者と後期選抜受検者が混在し、指導に困難な面がある。 ・ 2回の選抜では、前期選抜で不合格になった場合、生徒・保護者にとって精神的な負担が大きい。

(2) 現行の入学者選抜の理念である「1 特色ある入学者選抜の理念の継承」と「2 複数回の受検機会の保証」について

単位 (人)

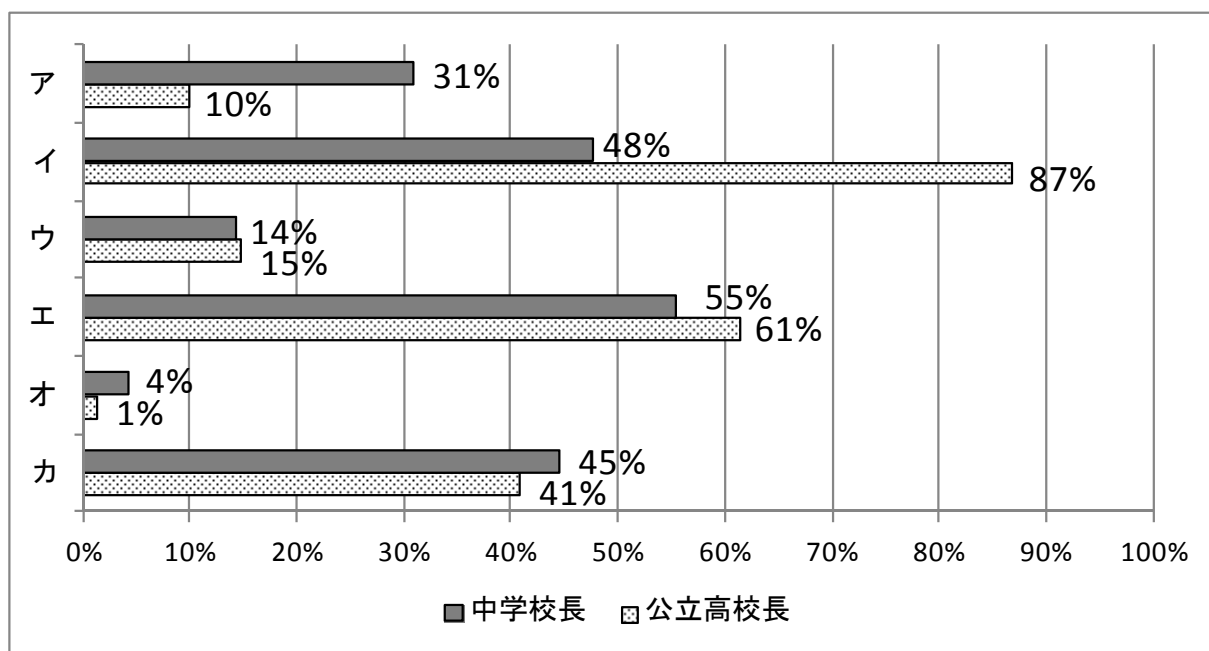
	中学校長 379	公立高校長 132	私立高校長 49
ア 1、2とも受け継ぐべき	125	17	10
イ 1は必要だが、2は必要ない	172	93	21
ウ 1は必要ないが、2は必要	17	0	1
エ 1、2とも再考すべき	59	20	15
オ その他	6	2	2



(3) 現行の入学者選抜の課題等について（複数回答）

単位（人）

	中学校長	公立高校長
ア 前期選抜、後期選抜と連続するが、校内での対応を工夫すれば、学校の教育活動に支障を来すことはない。	118	14
イ 前期選抜、後期選抜と連続することにより、学校の教育活動に支障が出ている。	182	129
ウ 前期選抜、後期選抜の違いや趣旨について、周知徹底がなされている。	55	21
エ 前期選抜、後期選抜の違いや趣旨について、生徒や保護者に理解が深まっているとは言えない。	212	87
オ 中学校の1月以降の教育活動が、授業時間を多く確保できるなど、以前より余裕を持って行えるようになった。	16	2
カ 前期選抜で学力検査を実施することにより、学習や学力に対する意識が高まった。	170	58



(4) まとめ

- ア 高等学校長の多くは選抜の一本化を希望しているが、受検生やその保護者では、現行の2回の選抜が望ましいと考えている割合が高い。
- イ 中学校長、高等学校長の多くは、特色ある入学者選抜の理念は継承すべきと考えている。一方で、前期選抜と後期選抜の違いや趣旨の周知が十分とは言えない状況にあると感じている。
- ウ 特に公立高校において、選抜が続くことで教育活動に支障が生じていると感じている。
- エ 選抜の時期を遅らせても、中学校の授業にゆとりが生じたとは感じていない。
- オ 前期選抜に学力検査を入れたことは、学習や学力に対する意識の向上に少なからず貢献している。

2 現行の選抜制度について

前期選抜：2月中旬に2日間で実施

第1日に5教科の学力検査（各教科50分）、第2日に各学校で定めた検査を実施
 予定人員（選抜枠）は、普通科が30～60%、専門学科と総合学科が50～80%

後期選抜：2月下旬～3月上旬に1日で行う

5教科の学力検査（各教科40分）及び必要に応じ各学校が定める検査を実施

なお、各高等学校が調査書の評定を入学者選抜の資料とする際には、次の算式を使用

算式： $X + \alpha - m$

X ：志願者の調査書中の9教科の評定の全学年の合計値

α ：千葉県が定める評定合計の標準値（95）

m ：志願者の在籍する中学校の第3学年に在籍する生徒の調査書中の9教科の評定の全学年の合計値の平均値

(1) 以下の質問は、「1の質問で複数回の選抜が望ましい」と回答した学校長と、調査に参加した中3生徒・中3保護者・高1保護者の全員を対象に実施しました。（斜線部は調査項目に無いことを示します。）

なお、割合については、無回答を除いて算出しています。（単位は%）

ア 前期選抜について

(ア) 実施の時期について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	90.0	10.0
公立高校長	71.4	28.6
私立高校長	100.0	0.0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	91.7	8.3
中3保護者	83.3	16.7
高1保護者	84.6	15.4

(イ) 検査の日数について

	2日間 (現行)	1日	その他
公立中学校長	87.8	10.7	1.5
公立高校長	92.3	7.7	0.0
私立高校長	80.0	20.0	0.0

	2日間 (現行)	1日	その他
中3生徒	88.4	10.5	1.1
中3保護者	83.6	14.3	2.0
高1保護者	88.6	8.6	2.9

(ウ) 予定人員（選抜枠）について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	70.0	30.0
公立高校長	71.4	28.6
私立高校長	100.0	0.0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	87.4	12.6
中3保護者	74.7	25.3
高1保護者	79.5	20.5

(エ) 検査の内容について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	84. 0	16. 0
公立高校長	85. 7	14. 3
私立高校長	100. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	94. 4	5. 6
中3保護者	91. 5	8. 5
高1保護者	91. 4	8. 6

(オ) 期待する生徒像について

	現行のまま	改善すべき	必要なし
公立中学校長	76. 9	16. 4	6. 7
公立高校長	64. 3	21. 4	14. 3
私立高校長	60. 0	40. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき	必要なし
中3生徒	96. 8	1. 7	1. 5
中3保護者	92. 9	7. 1	
高1保護者	95. 7	4. 3	

(カ) 志願理由書について

	現行のまま	改善すべき	必要なし
公立中学校長	60. 9	10. 5	28. 6
公立高校長	57. 1	35. 7	7. 1
私立高校長			

	現行のまま	改善すべき	必要なし
中3生徒	90. 1	3. 9	6. 0
中3保護者	89. 8	2. 3	7. 9
高1保護者	90. 6	2. 9	6. 5

(キ) 算式について

	現行のまま	改善すべき	必要なし
公立中学校長	78. 9	12. 8	8. 3
公立高校長	78. 6	14. 3	7. 1
私立高校長			

	現行のまま	改善すべき	必要なし
中3生徒			
中3保護者	88. 3	8. 1	3. 6
高1保護者	91. 3	6. 3	2. 4

(ク) 入学確約書について

	現行のまま	何らかの形	必要なし
公立中学校長	61. 4	24. 2	14. 4
公立高校長	64. 3	28. 6	7. 1
私立高校長	80. 0	0. 0	20. 0

	現行のまま	何らかの形	必要なし
中3生徒			
中3保護者			
高1保護者			

(ケ) 選抜方法について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	86. 6	13. 4
公立高校長	85. 7	14. 3
私立高校長	100. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒		
中3保護者		
高1保護者		

イ 後期選抜について

(ア) 実施の時期について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	90. 8	9. 2
公立高校長	84. 6	15. 4
私立高校長	100. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	90. 5	9. 5
中3保護者	79. 9	20. 1
高1保護者	81. 8	18. 2

(イ) 検査の日数について

	1日	2日間	その他
公立中学校長	76. 9	20. 9	2. 2
公立高校長	92. 3	7. 7	0. 0
私立高校長	100. 0	0. 0	0. 0

	1日	2日間	その他
中3生徒	82. 7	16. 1	1. 2
中3保護者	84. 1	14. 2	1. 6
高1保護者	80. 1	18. 2	1. 7

(ウ) 検査の内容について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	82. 6	17. 4
公立高校長	92. 3	7. 7
私立高校長	100. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	81. 7	18. 3
中3保護者	83. 1	16. 9
高1保護者	84. 7	15. 3

(エ) 算式について

	現行のまま	改善すべき	必要なし
公立中学校長	82. 9	10. 9	6. 2
公立高校長	61. 5	30. 8	7. 7
私立高校長			

	現行のまま	改善すべき	必要なし
中3生徒			
中3保護者	89. 0	6. 9	4. 1
高1保護者	91. 6	4. 7	3. 7

(オ) 選抜方法について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	90. 9	9. 1
公立高校長	92. 3	7. 7
私立高校長	100. 0	0. 0

	現行のまま	改善すべき
中3生徒		
中3保護者		
高1保護者		

ウ まとめ

前期選抜・後期選抜ともに、すべての項目において現行の制度を支持する回答が多数を占めている。

(2) 以下の質問は、「1の質問で1回の選抜が望ましい」と回答した学校長と、調査に参加した中3生徒・中3保護者・高1保護者の全員を対象に実施しました。

(斜線部は調査項目に無いことを示します。)

なお、割合については、無回答を除いて算出しています。(単位は%)

ア 入学者選抜を一本化(1回に)した場合について

(ア) 実施の時期について

	2月中旬	2月下旬	3月上旬	その他
公立中学校長	7.6	78.0	13.6	0.8
公立高校長	32.8	58.2	8.2	0.7
私立高校長	34.1	52.3	11.4	2.3

	2月中旬	2月下旬	3月上旬	その他
中3生徒	60.9	30.5	5.6	3.0
中3保護者	61.5	28.5	5.3	4.7
高1保護者	68.7	23.7	3.6	4.0

(イ) 検査の日数について

	1日	2日間	その他
公立中学校長	2.0	98.0	0.0
公立高校長	2.3	95.5	2.3
私立高校長	27.9	69.8	2.3

	1日	2日間	その他
中3生徒	32.4	66.5	1.1
中3保護者	33.0	65.7	1.4
高1保護者	29.2	70.0	0.7

(ウ) 選抜枠・選抜方法について

①選抜方法は県下統一した(一つの)ものとし、募集定員の100%をその方法で判定する。

②選抜方法を各高等学校が複数設定できるようにし、募集定員のうちしかるべき割合について、それらにより判定する。

	①	②	その他
公立中学校長	53.6	46.4	0.0
公立高校長	41.0	54.5	4.5
私立高校長	61.4	29.5	9.1

	①	②	その他
中3生徒	/		
中3保護者			
高1保護者			

(エ) 学力検査の教科数について

	5教科	3教科	その他
公立中学校長	99.2	0.4	0.4
公立高校長	96.2	2.3	1.5
私立高校長	93.2	4.5	2.3

	5教科	3教科	その他
中3生徒	91.3	7.8	0.9
中3保護者	93.6	5.3	1.1
高1保護者	89.0	10.0	1.1

(オ) 学校ごとの検査について

- ①現行の前期選抜の第2日のような内容で、全高等学校が実施する。
 ②現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の学校のみ実施する。

	①	②	その他
公立中学校長	84.7	12.4	2.8
公立高校長	67.9	28.4	3.7
私立高校長	52.4	35.7	11.9

	①	②	その他
中3生徒	60.4	38.4	1.2
中3保護者	62.8	33.4	3.8
高1保護者	65.7	32.5	1.8

(カ) 算式について

	現行のまま	何らかの形	必要なし
公立中学校長	60.7	13.5	25.8
公立高校長	66.9	20.3	12.8
私立高校長			

	現行のまま	何らかの形	必要なし
中3生徒	/		
中3保護者			
高1保護者			

イ まとめ

- (ア) 検査の実施時期については、多くの中学校長・公立高校長は2月下旬を希望しているが、中3生徒・中3保護者・高1保護者は2月中旬がよいとする回答が多い。
- (イ) 検査の日数については、2日間での実施を希望する意見が多いが、中3生徒・中3保護者・高1保護者の中には、1日での実施を希望する意見もある。
- (ウ) 選抜枠・選抜方法については、大きく意見が分かれている。

(3) 以下の質問は、(1)(2)以外の調査項目に対する回答です。

(斜線部は調査項目に無いことを示します。)

なお、割合については、無回答を除いて算出しています。(単位は%)

ア 受検した選抜について

- ①前期選抜だけ ②後期選抜だけ ③前期選抜・後期選抜とも受検(同じ高校を受検)
 ④前期選抜・後期選抜とも受検(違う高校を受検) ⑤両方とも受検しなかった

	①	②	③	④	⑤
公立中学校長	/				
公立高校長					
私立高校長					

	①	②	③	④	⑤
中3生徒	48.0	0.9	35.0	15.0	1.2
中3保護者					
高1保護者					

イ 学力検査の教科数について（複数の受検機会・一本化の両方）

①全日制、定時制ともに学力検査は5教科（国、数、英、理、社）実施するべきである。

②全日制は5教科、定時制は3教科（国、数、英）でよい。

	①	②	その他
公立中学校長	88. 1	11. 4	0. 5
公立高校長	72. 4	23. 4	4. 1
私立高校長	68. 9	28. 9	2. 2

	5教科	3教科	その他
中3生徒	/		
中3保護者			
高1保護者			

ウ 定時制の出願時間受付時間及び選抜結果発表時間について

	現行のまま	改善すべき
公立中学校長	97. 3	2. 7
公立高校長	70. 2	29. 8
私立高校長	/	

	現行のまま	改善すべき
中3生徒	/	
中3保護者		
高1保護者		

エ 後期選抜の受検状況について

(ア) 公立中学校長

①前期選抜に内定しなかった者のうち、後期選抜も同じ学校学科を志願した生徒数とその割合

②前期選抜に内定しなかった者のうち、後期選抜への志願をとりやめた生徒数とその割合

	生徒数の平均	割合の平均
①	29. 6人	65. 7
②	1. 8人	2. 8

(イ) 公立高等学校長

前期選抜に引き続き、同一学科を受検した者の割合

全日制平均	定時制平均
62. 7	29. 3

オ まとめ

(ア) 定時制の課程の出願受付時間等を、定時制高校の実態を踏まえ変更した方がよいとする意見がある。

(イ) 前期選抜に内定しなかった受検生のうち約6割の生徒が、後期選抜も同じ学校学科を志願した。